

「挫折は過程」

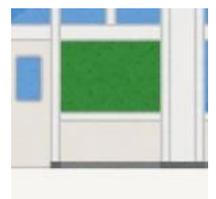
校長 桐野 和之

皆さんは、これまでさまざまな困難にぶつかったときにどのように解決してきたでしょうか。時にはくじけそうになったという経験はありませんか。皆さんの中には、勉強が思うように進まない、部活動に意欲が湧かない、友だちとの関係がうまくいかないなど悩みを抱えている人もいるのではないかと思います。今号ではそのようなときにどのように考えて困難を克服していくかを述べます。

サッカーの本田圭佑選手が語った言葉を紹介します。本田選手を知っている人は多いかと思いますが、日本代表の中心選手としてワールドカップなどで活躍する姿を、テレビで見た人も多いと思います。現在はメキシコのサッカーチームに所属していますが、その前はイタリアのプロサッカーチームでエースナンバーである、10番の背番号を付けていました。イタリアのプロサッカーチームで10番の背番号を付けるというのは並大抵のことではありません。イタリアでも強い精神力と高度な技術は高く評価されていました。本田選手は向上心が高く、その生き方は常に前向きで、チャレンジ精神が旺盛な選手です。そういう生き方をしてきたから、今、海外のトップクラスのチームでも活躍ができているのだと思います。本田選手が今の地位を築き上げるまでには、困難な課題をいくつも乗り越えてきました。挫折しそうになったこともあったのではないかと想像します。そのようなとき、自分に次のような言葉を言い聞かせ、困難を乗り越えてきました。



「挫折は過程、最後に成功すれば、挫折は過程に変わる。だから成功するまで諦めないだけ」。この言葉から本田選手の意志の強さと目標に向けて果敢にチャレンジする姿勢が伝わってきます。困難を困難として受け止めるのではなく、自分を成長させるための過程としてとらえていたようです。考え方を前向きにすることで、困難や挫折を乗り越える勇気が湧き、諦めずに挫折を乗り越えるための努力ができたそうです。人は誰でも、困難な課題に直面したとき挫折しそうになったり、諦めかけたりしてしまいがちです。でも、そこで投げ出してしまえば、進歩が止まってしまいます。決して諦めない気持ちが、自分を成長させていきます。皆さんも挫折しそうになったときには、「挫折は過程」と自分に言い聞かせてみてください。挫折を乗り越える経験を通して人は成長していきます。本田選手の生き方は、これからわくわくするような未来がある皆さんにとって、とても参考になる生き方だと思います。本田選手は小学校の卒業文集に、「世界一のサッカー選手になる。セリエAに入団し10番を付けて活躍する」という夢を記して、その実現に向けてチャレンジしてきました。今でも、世界一のサッカー選手という夢の実現にチャレンジし続けています。



皆さんの将来にも、さまざまな困難が待ち構えていることと思います。困難にぶつかったときには、本田選手の「挫折は過程」という考え方を参考にしながら、自分らしい生き方を見付け、たくましく生きる力を身に付けてください。

「合唱コンクールを振り返って」

音楽科 上野 美貴子

今年も秋晴れの中、合唱コンクールが無事終了しました。本番までの2週間、力強く、きれいな歌声が校舎内に響いていました。

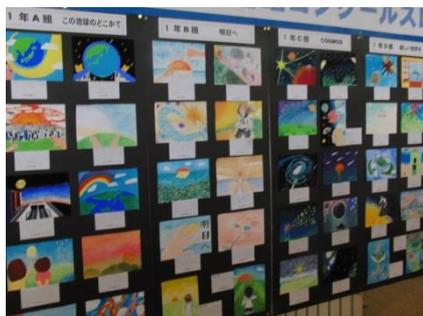
今年の課題は、「伴奏者が本番までに弾けるようになるか」と「各パートのバランス調整」でした。1年生は、伴奏者をオーディションするほど人材豊富でしたが、2・3年生は、元々ピアノを習っている人が少なく、何年も弾いていない人が苦勞して弾いたり、難曲に悪戦苦闘したりと、本当に当日までヒヤヒヤしました。しかし本番は、皆、立派にやり遂げました。指揮者も曲を研究し、振り方を工夫して、歌を盛り上げたのは良かったです。

歌では、パートリーダーを中心に、積極的に取り組んでいたクラスが多く見られました。1年生は、男子の中にソプラノやアルトパートで歌う生徒が多くいるため、男声パートが少なく、ハーモニーのバランスを取るのが難しいクラスがありました。また、2・3年生はソプラノが3～4人というクラスもあり、男声の力強い声量に押され気味でしたが、よく頑張っていて歌っていました。

選抜合唱では、クラスで選曲しないような曲を毎年披露していますが、朝・昼・放課後のわずか10分ずつ位の練習で曲を仕上げました。さすがに、皆、譜読みが早く、意欲的に練習に参加し、迫力ある歌声ときれいなハーモニーを会場に響かせました。

毎年少しずつ全体のレベルが上がってきていると思います。今後さらに、響きのある歌声、そして強弱を付け、表情豊かに歌えるようになってほしいです。身を乗り出して、一生懸命歌う姿はとても印象的でした。来年もさらにレベルが上がることを期待します。

来賓・保護者の皆様、多数のご参観ありがとうございました。



「英語学芸会に参加して」

英語部 顧問 和田晴夏

先日、11月5日(日)練馬区生涯学習センターにて、第54回英語学芸会が行われました。本校の英語部は近年では、毎年参加をしており、昨年度においては特別賞を受賞しました。

また、練馬区の出場校の中では2番目に参加人数の多い16名の部員を擁しています。さて本年度は、夏休み中から大会での特別賞受賞を目標とし日々、練習に励んできました。普段は火曜日と金曜日のみの活動ですが、10月からはほぼ毎日練習をし、下校時刻ぎりぎりまで部員同士、切磋琢磨しました。

いよいよ本番当日を迎え、”Where Is My Berry Button?”という劇で参加し、見事に練習の成果を出し切りました。結果としては、惜しくも2年連続の特別賞受賞を逃しましたが、本大会をもって引退をする3年生のやりきった表情や3年生を送る1、2年生のすがすがしい姿が印象深かったです。大会終了後、当日の審査にあたった審査員の方々からいただいた助言をもとに、来年こそは都大会出場を実現できるよう、日々の活動を送っていきます。



「雑感」

地域の運動会に参加して思わぬケガをして、多くの皆さんに迷惑をかけてしまいました。当日の開会式では、「どうか皆さんケガをしないように心がけましょう」など、調子の良いことを自ら言っておきながら、言動の張本人が自らケガをしてしまう始末。「本当に情けないやら、隠れられるなら身を隠したい。そして、もう自分は若くないのか。」という情けなさや寂しさを十分に感じました。また、ケガをした際には、本校のPTA会長、小学校の副校長先生や養護の先生、貫井町会の皆さま、そしてその他大勢の方々に多大な迷惑をかけてしまいました。

救急車で搬送されながら、情けない気持ちと申し訳ない気持ちが交互に入り交じり、そして残念な気持ちで一杯でした。

当日は日曜日のため、救急外来での診察。医師によると「間違いなく、アキレス腱を断裂しています。」という診断。正式には整形外科の医師の診断を後日仰いで治療方法を決めようということになりました。当然後日の診断でも同様の結果。今後のためにも手術をして、今後の断裂の可能性を減らすことを勧められ、それに従いました。裂傷を縫った経験はありましたが、手術は生まれて初めて。不安もありましたが、あっという間のできごと。手術は医師の「完全断裂です。しっかり縫合しておきました。」という言葉で終わりました。

しかし、それからです。学校で勤務するために家内に毎日付き添って送ってもらう。学校では教職員の皆さんにいろいろ気を遣ってもらう。そして生徒たちには「校長先生、大丈夫ですか。松葉杖を持ちますよ。」など多くの子たちに声をかけてもらう。いろいろなところで迷惑をかけ、気を遣わせてしまう日々の始まりです。

本当に申し訳ない。そして「ありがとうございます。」という感謝の思いと申し訳ないと思う毎日が続いています。

このような日々を過ごす中のある日、松葉杖を着いて校長室に入ろうとすると、何も言わずに生徒が寄ってきて、そっと校長室の戸を開け、入室すると黙って閉めてくれました。本当に驚きました。同時に感激しました。困っている人をさり気なく助ける。実は簡単なようで簡単にはできない。気が付きそうで、そんな簡単には気が付けない。それを一瞬の風のように、流れる動作で実行してくれた生徒がいたのです。そして、そのような生徒は1名ではなく、他にもいたのです。私自身大変驚いたとともに、感激したのはいうまでもありません。「大丈夫ですか」と声をかけられるだけでも嬉しい気持ちになっているのに。



「素晴らしい中学生がいるものだ。しかもそれが貫井中生だ。」と意識すると感激や感動の気持ちがより大きくなりました。嬉しいとともに、素晴らしいと思いました。感謝の気持ちを表すためには早く治癒させ、生徒たちのために頑張るしかない。そのように考える日が今、続いています。

『人の気持ちに寄り添う』ということは言葉では簡単に言えます。しかし、本当に自分が実行できているのだろうか。考えるきっかけにもなりました。また、いろいろな人たちから優しく声かけをしてもらうことにもなりました。まさに「ケガの功名」と言うべきでしょうか。さらには家族と買い物に行く際には、スーパーで車いすにも乗せてもらいました。そうすると、今まで見えていた世界と違う世界が見えたような気がしました。車いすに乗っている人は普通に押されていて、思った以上に恐怖心を感じているものだ、ということを感じました。やはり、今までとは少し違う見方や考え方ができ、自ら学んだように思いました。これも「ケガの功名」でしょうか。

部活動の報告

陸上競技部…第55回練馬区中学校総合体育会陸上競技：平成29年9月22日(金)

結果：個人 3年男子100m走 3年Kさん 第4位
共通男子200m走 3年Nさん 第5位
共通男子400mR 3年Oさん・Kさん・Uさん・Nさん 第4位
1年男子走幅跳 1年Aさん 第6位
2年男子走幅跳 2年Sさん 第6位
3年男子走幅跳 3年Oさん 第4位
3年男子走高跳 3年Nさん 第2位

男子総合 第8位

卓球部…第70回練馬区民大会(中学生の部)卓球大会：平成29年10月7日(土)・8日(日)

結果：個人 2年Kさん ベスト8、3年Yさん ベスト32
2年Mさん、3年Sさん(3回戦敗退)、1年Sさん、Nさん(2回戦敗退)

団体 予選リーグ1位、決勝トーナメント1回戦敗退(ベスト8)

バドミントン部…練馬区中学校総合体育大会バドミントン大会：平成29年10月8日(日)・15日(日)

結果：団体 男子 1回戦0-2石西中 敗退
女子 1回戦2-0大泉二中、2回戦0-2練馬中 敗退

個人 男子シングルス 2年Kさん ベスト16

2年Kさん3回戦敗退、Kさん、Hさん(2回戦敗退)

ダブルス 2年Tさん・Hさん組(1回戦敗退)

1年Kさん・Gさん組、Tさん・Sさん組、Hさん・Yさん組(1回戦敗退)

女子シングルス 2年Mさん、1年Yさん ベスト16

2年Kさん(3回戦敗退)、Kさん(2回戦敗退)

ダブルス 2年Sさん・Kさん組 ベスト16

2年Oさん・Hさん組(3回戦敗退)、Kさん・Mさん組、Sさん・Oさん組(2回戦敗退)

吹奏楽部…連合音楽会出場

平成29年10月6日(金)

貫井町会親子スポーツ大会での演奏 平成29年10月8日(日)

剣道部…練馬区中学校総合体育大会剣道新人大会：平成29年10月8日(日)

結果：男子団体0-5(関中)、0-4(石南中)、1-4(光三中)リーグ敗退

女子団体(石神井南中と合同)1-2(富士見中)、0-4(大泉中)、0-4(田柄中)リーグ敗退

サッカー部…練馬区サッカー新人大会 平成29年9月23日(土)～10月28日(日)

結果：予選リーグ 7-0(光が丘三中)、8-0(北町中)、2-1(開進二中)

決勝トーナメント 1-2(三原台中)

茶華道部…お茶会 平成29年10月14日(土)

教職員を招き、浴衣を着た茶華道部員が日頃の練習の成果を披露し、お抹茶と季節の和菓子を供した。先生方にも喜ばれ、茶道の楽しみを改めて実感する機会となった。

